

分校のある風景

霜里学校便り

下里地区のみなさま、日頃より NPO 法人霜里学校の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。“分校のある風景”霜里学校便りは NPO の日々の活動をレポートいたします。インターネットでも活動の様子を随時掲載中です。「霜里学校」で検索してください。

管理人さんに聞いてみた！（支える人の声）

皆さんこんにちは。

今回は、下里分校の環境を日々維持・管理してくださっている【管理人さん】にお話を聞いてみました。

今回おはなしを聞いたのは月曜日の管理人をしている「田端 保次さん」です。

Q:分校の管理人になり何年経ちますか？管理人をすることになったきっかけを教えてください。

A:8 年くらいです。同級生の田中さんの誘いで管理人をやることになりました。何十年も柔道の指導者をやってきたのでボランティア活動に抵抗はなかったです。

Q:管理人をしていてうれしいと思う瞬間は？

A:来校者の方々が「廃校をこんなに綺麗に保存している所は他にないですよ！」と言って話しかけてきてくれたり、若い人が作業中に飲み物の差し入れをしてくれた時。子供たちが大きな声で挨拶してくれる時などはいっぱい褒めてあげるんだ。

Q:管理人をしていて苦勞を感じる時は？

A:やっぱり、最近の夏の暑さだねえ。外での草退治は大変だね。全部手作業だから。もう80歳だからねえ俺も。堪えるよお(笑)

Q:今後、下里分校がどんな場所であってほしいですか？

A:リピーターの人も多いし、構内案内板も充実してきてよくなってきていると思う。

【裏面に続きます。是非裏面もご覧ください！】



花壇を手作業で丁寧に整備してくれます

A: (続きから)分校をいい場所だと言ってくれる人が増えているのだから、愛宕山もみんなが歩ける山にもう一度整備してもらいたいね。昔は山の上の神社で相撲をとったんだよ。上からは、下里全体がよく見えるしね！分校の話からは少しそれちゃうけどね(笑)



分校から見た「愛宕山」

「霜里学校ってなんなんだい？」—その答えを探して

「霜里学校って、結局なんなんだい？」

——そう思われている方も少なくないかもしれません。

「分校を管理している」「移住をサポートしている」「有機農業を学びたい人が集まる」「ドラマ撮影にも使われる」——。

確かに、一見まとまりがないように見えるかもしれません。

でも、関わる人たちには共通点があります。

それは“小川町・下里に惹かれて集まっている”ということ。

その象徴が「下里分校」であり、ここを拠点に地域の課題に向き合っています。

ありがたいことに、最近は活動を知ってくださる方が少しずつ増えてきました。

9月には堀光・埼玉県副知事の訪問もあり、直接ご案内する機会をいただきました。

また、地元の方々や分校ゆかりの方のご利用も増えています。

一歩ずつですが、「分校を通じて地域に貢献したい」という思いが形になりつつあります。

これからも、謙虚に、着実に歩みを進めていきます。



株式会社ルミネの稲刈り1区にて



堀光副知事に活動の説明をする小田理事長

《編集後記》

前回の発行から少し間があいてしまい申し訳ございませんでした。今年の夏の暑さから体調が整わず発行滞っておりました。

これからも、下里地区の皆さま、分校を大切に思ってくださいの皆さまの力に少しでもなれるよう精進してまいります！

編集者 NPO 法人霜里学校 小熊健一

発行元 NPO 法人霜里学校
埼玉県比企郡小川町大字下里
824番地
発行日 2025/11/1